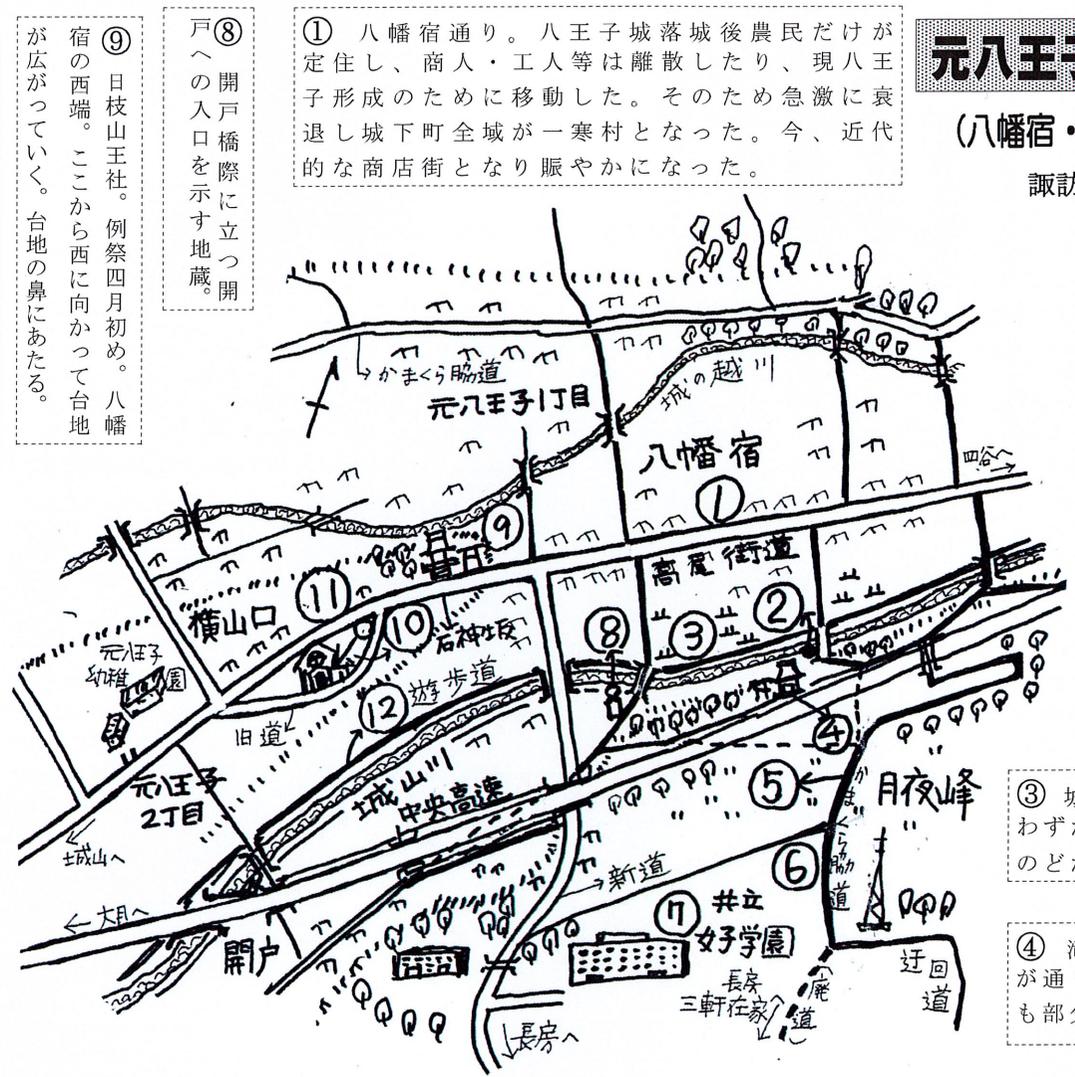


元八王子見て歩き⑨

(八幡宿・横山口・月夜峰)

諏訪町 渡辺 唳



① 八幡宿通り。八王子城落城後農民だけが定住し、商人・工人等は離散したり、現八王子形成のために移動した。そのため急激に衰退し城下町全域が一寒村となった。今、近代的な商店街となり賑やかになった。

⑧ 開戸橋際に立つ開戸への入口を示す地蔵。

⑨ 日枝山王社。例祭四月初め。八幡宿の西端。ここから西に向かって台地が広がっていく。台地の鼻にあたる。

② 城山川に注ぐ小さな湧水。この上に滝不動があり、近くに滝が落ち、村民ののどをうるおしていたという。高速道の設置のためか滝の姿は消えたが、その証として、ここに小さいながらも湧水として流出している。長房の長竹さんが飲んで証明してくれた。

③ 城山川に沿って水田が、わずかに広がっている。のどかな風景。

④ 滝不動。南側を高速道が通り、丘が削られて古道も部分的に消滅した。

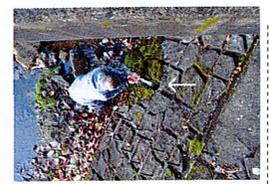
⑤ 不動坂。廿里合戦の時、滝山勢三百余騎雑兵二千余人が、この坂を通過したという歴史あり。この坂道もかまくら脇道。長房の三軒在家からあきる野市の四軒在家に向かう通過地点。

⑥ 月夜峰。月夜峰とは何ともロマンあふれる地名。北条氏照が、ここから眺める秩父連山、多摩の丘陵の絶景をこよなく愛好したという。満月の夜景に心酔。

⑪ 石神坂。八幡宿と横山宿をつなぐ坂。この辺り横山口という八王子城第一の関門地点。城戸が開閉して八王子城への出入りを厳しくした。



⑨ 日枝山王社



⑩ おついで地蔵



④ 滝不動と高速道



⑪ 石神坂



⑤ 不動坂



⑧ 開戸口の地蔵



⑥ 月夜峰

⑩ おついで地蔵。「これからどこそこへ参ります。その途中ですが一寸お願い申し上げます。」と祈ると諸願成就するという地蔵。左に曲がる旧道の角にあったが、道路の拡張で西へ移動した。